

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

大豊食品は「取引先より信頼される問屋を目指し、地域の食生活に貢献する」「仕事を通じ、社員とその家族の幸せを追求する」という経営理念を掲げます。食を通じた人々の幸せの実現に貢献する集団になるべく、これからも努力を重ねて参ります。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	温室効果ガス排出量の削減率	CO2排出量削減(現在、排出量の算定サービスを導入作業中で今年度より利用予定→今年度の算定値を基に、2026年度までに3%削減)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	子ども食堂への食糧支援	2023年度 支援実施(11月、1月) →2026年度 継続支援
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	取引先と協力した業務効率の改善等、業界レベルで働き方の改善に取り組む	総残業時間 2023年度:約70h/月(10月～2月)→2026年度:約33h/月(現在、働き方改革プロジェクトを立ち上げ、取組中)

<パートナーシップ>

熊本市の清らかな水に育てていただいた企業だからこそ、地球に優しさをお返ししたいと願っています。仕入先や熊本市、地場のスーパーや小売飲食店、自治体や金融機関等を含むすべてのステークホルダーと協働しながら持続可能な地域社会づくりに取り組んでいます。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
 ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
 ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	・ペーパーレスの推進→取引において複写紙を使用しなくなったため、0枚/年になり、目標を達成できた。	複写紙 40,000枚/年 削減	2023年100%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	・子ども食堂への食糧支援 ・IT導入による業務効率の改善	・継続的に支援する ・リモートワークの仕組みを構築し休日出勤をゼロにする	・2021年～2023年において、毎年継続的に支援 ・休日出勤0日
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	・取引先と協力した業務効率の改善等、業界レベルで働き方の改善に取り組む→JCA手順から全てWebEDIによる通信方式に置き換えた	・2024年までにJCA手順による通信方式をWebEDIに置き換える	2023年100%

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。